(仮称) 仙台アリーナの指定管理者候補者の選定経過及び結果について

(仮称) 仙台アリーナについて、次のとおりその候補となる団体を選定しましたのでお知らせいたします。

1 施設概要及び指定期間

- (1) 施設名 (仮称) 仙台アリーナ
- (2) 所在地 仙台市太白区あすと長町1丁目4-10
- (3) 指定予定期間 供用開始の日から令和27年3月31日
※供用開始の日は令和7年7月の予定

2 選定までの経過

令和6年10月15日	第1回文化観光局選定委員会開催 (募集方法、評価方法を審議、応募団体の選定を実施)
令和6年12月6日	第2回文化観光局選定委員会開催 (募集方法を審議)
令和7年1月16日	第3回文化観光局選定委員会開催 (申請書類の審査、面接審査、候補団体の選定を実施)

3 文化観光局選定委員会の構成

委員数 計5名 (内訳: 民間委員 4名、市職員委員 1名)

4 指定管理者の候補者

- (1) 団体名 クロススポーツマーケティング株式会社 (以下、クロス社という。)
- (2) 代表者名 代表取締役 中村 考昭
- (3) 所在地 東京都千代田区神田錦町3丁目20

5 選定理由

以下の理由より、クロス社を公募によらずに、指定管理者の候補に選定しました。

(1) 非公募で選定を行うこととした理由

(仮称) 仙台アリーナは、ゼビオホールディングス株式会社 (以下、ゼビオ社という。) より寄附を受け、公の施設となるものですが、仙台市議会令和5年第4回定例会及び令和6年第3回定例会において負担付き寄附として議決を得ており、負担の内容を、本施設の指定管理者にゼビオ社の子会社であるクロス社を指定することとしています。そのため、同社以外が選定されることとなった場合、負担付き寄附の前提を欠くこととなり、ゼビオ社から本市への寄附が行われないこととなります。

また、今回新たに整備される通年型アイスリンクは、光熱水費等の負担が大きいことから、適切な運営管理を行いつつ、稼働率を高めるため多目的アリーナとの効率的な利用を図ることが重要です。そのため指定管理者には、多目的アリーナと通年型アイスリンクの併用構造となる本施設の運営に関して、一定のノウハウや知見を有することが求められます。

この点について、クロス社は、本施設と同様の構造の施設を運営している実績があることから、床の転換やアイスリンクと多目的アリーナの効率的な稼働に関して、本

施設の管理運営に求められる知見を十分に有する事業者です。さらに、本市とゼビオ社は、令和5年8月25日に「スポーツ振興を通じたまちの活性化に関する連携協定」を締結しており、ゼビオ社の子会社であるクロス社も、指定管理者としての単なる施設運営にとどまらない、長期的な視点で、まちづくりや交流人口の拡大など、幅広い分野で協力して取り組んでいくためのパートナーとしての役割も期待できます。

以上のことから、「仙台市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例」第2条第1項ただし書き「当該施設の適正な運営を確保するため」の要件に該当し、公募によらない選定を行うものとなりました。

(2) 審査の中で評価された点等について

当該団体の選定にあたっては、申請書類の審査や面接審査を通じ、以下の点が評価されました。

- ① これまでの13年にわたるゼビオアリーナ仙台の運営実績や、アイスリンクと多目的アリーナの併用構造を持つ類似施設の管理運営のノウハウを活かした安定的かつ効率的な運営が期待できる
- ② 地域の団体や大学との連携による回遊性向上の取り組みなど、地域連携に関する積極的な事業展開が期待できる

なお、選定委員会における審査の中では、(仮称)仙台アリーナが公共施設となる点も踏まえて、市民にとってより開かれた施設となるよう、仙台市とも連携しながら各種の事業展開に取り組んでいくことを期待する意見もありました。

6 その他

指定管理者候補者として選定された団体を指定管理者として指定する議案について、令和7年第1回定例会に提出する予定です。当該議案が議会で可決された場合には、同団体が指定管理者として、本施設の管理運営にあたることとなります。

お問い合わせ先

文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課企画係

(電話番号：022-214-8889)